

急ぎ過ぎだよ 人類は。

ゆるやかなネットワークを目指す

ITより
逢いてエ

雑報 網文

いろいろ考えがあるから面白い
いろいろな人がいるから楽しい

No. 658

2023年 8月

夕刊

編集・発行 鈴木厚正

〒266-0005 千葉県緑区菅田町2-21-359

T&F 043-291-2917

も・く・じ

ページ

- 国民国家について(続き4) 2
- 戦争します? 4
- お月見の節供 7
- 「少年と犬」、「首里の馬」など 8
- 『バーサンのつばやき』出版記念会 12
- お便利から 15
- 山仕事(6月、大平) 19
- 「笠井屋」写真集 22
- 浅井さんと「戌七」・舟守門岳 23
- 正士さんしりしり! 26
- け・い・じ・ぼん "



泉ゆきを『けいじぼん山頭火』
日本習字普及協会が

41名

8月 日現在の
会員数 208名

この見本誌をみて新たに

「読んでみようか」という方は、
年会費 4,000円を

郵便局で 00100-2-20630
「雑報友の会」
へ 掛い込んで下さい。

題 字 敬 佐村隆英和尚 (千葉県長柄町本光寺住職)
カ ッ ト 敬 泉ゆきをさん (にっぽん箱絵の会会長)

印刷機 リソグラフ RZ 330

※この号の切手は、夏のグルトテンゴ。

山仕事(6月、大平)

梅雨だから当然とはいえ、悩ましい天候だった。

6月14日(水)。ほんだの夜来の雨は出発時にはやみ、静岡の雨も入っていた。

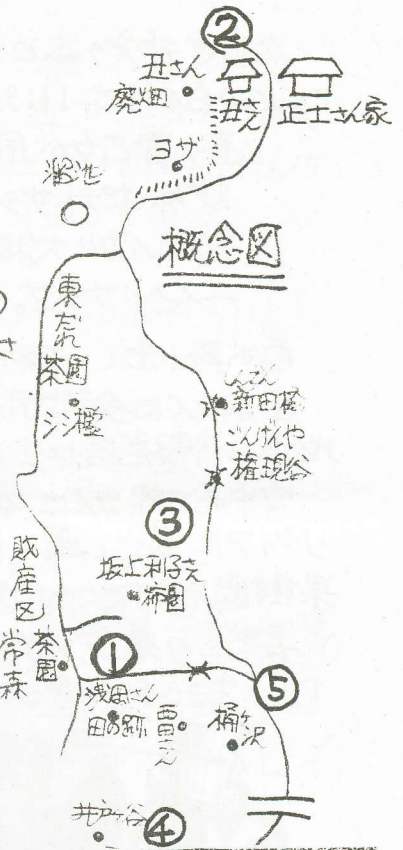
敷地駅で正士、久米、若林、古橋さんに迎えられる。

買物の后と、原田、若林、古橋さんと4人で、浅岡さんの田んぼ跡①の草刈り。シャワーの順番待ちの間に原田さんと二人で丑さんち(今は無人)②まわりの草刈り。

夕方、山崎さんが到着。康さん、久米さんが調理してくれた夕食は、

刺身(カツオ、ブリ)、ジャガイモとハムのサラダ、トウモロコシ(袴田さん提供の「甘々娘」)、長芋のステーキ、肉ゴボウ、シラス干しと大根おろし、枝豆、白菜の漬け物と青山さんのシタケ煮。

久しぶりにお母さんも加わり合宿の後、正士さんの手打ちそばを久米さんのだしお返ししていただく。



カメラ正士さん



6月15日(木)、雨の予報だったが、この日と翌日、磐田市(旧豊岡村担当)の地産おこし協力隊々員の山本真由美さんが参加。水害の昔乙女4名も駆けつけ賑やかに。坂上利子さん宅③まわりの草刈り。大勢の力はすばらしく10:45に終了。
(竹中さん参加)



次いで井戸谷の栗林④へ。これも昔乙女が手織どりの抹茶を混ぜてくれるおかげで、11:30に終了。

(昼) 昔乙女が用意してくれた、メサバ、煮豆(インゲン、大豆)、とりじん炒め、ポテトサラダ、トウモロコシ(青山さん提供)、干しぶどう入りパン、ホタルイカと大根の煮物、康江さんのトマトのオーロラソース、カッテージチーズ入りサラダ。

雨が降り出し、午後は田舎裏のまわりでお茶会。延々と自己紹介が続く。山本さんは今年5月から協力隊に。磐田市初、旧豊岡村を担当、これから地域の情報発信などを進める予定。

竹中亮三郎さんは、横須賀市にある会社での機軸設計の仕事が一段落。リタイアに備えて購入してあった森町薄塚の家に住ることが多くなり、畑や果樹園から次々と収穫が上がっている。

長野との県境水窪(みさくぼ)町本こ/時余りかけて来てくれた昔乙女たち。「山に生きる会」「昔乙女らの食品を作る会」の中心メンバーとして活動している。



調理を担当してくれた、竹中礼子さん(左)と、伊藤康江さん

そのうち熊谷道子、中谷今朝菊、竹中礼子さんは水窪生まれの「地産地消」。舟屋千づるさんは長野県の現飯田市の小学校の先生から、足神神社の宮司に嫁ぎ、子供たちを山に連れて行きたいと森林組合に願ったが果たせず、熊谷夫妻に頼んで実現。熊谷道子さんは中日新聞にしばしば寄稿、掲載された100篇を出版している。「山に生きる会」では、登山道の整備や水窪に多い山ヒレ駆除などに取り組んでいる。

若林展行さんは竹細工の指導をし、各地の仲間と交流している。

原田英若さんは農林水産省での同僚。山好きで、よくもあちこちの山に連れて行ってもらう。

山崎彰彦さんはかつて紀文食品のお客様相談室長を務め、食品に詳しい。

伊藤康江さんは山口県出身、父君の仕事で満洲にも住む。敗戦によりいちから帰国。消費者団体「消費科学連合会」の事務局長をながく務め、食品の表示問題などで関係省庁と渡り合う。退会後も日本有機農研、食の安全・塩産市民委員会の役員をしている。猫の手クラフでは、再び調理を担当してくれている。

ス米眞弓さんは福島県出身。浜松市に長く住まう後、森町薄場に移住。
 地域の人たちと「ヤマボウシの会」を作り、助け合って暮らしよくなる活動をしている。
 正士さんの生き節に共鳴、数年前から猫の手仲間。康江さんと調理を担当する傍ら、刈払い機を持って作業にも従事。歌唱指導などを通じて猫の手クラブのマドンナ的存在となっている。

そのうちに雨が上がり、昔乙女が帰ったあと、正士、原田さんの指導で山本さんがチェーンソーの扱いを学ぶ。

(夕) サーモンのソテー、アスパラ添え、キムチ奴、青菜のゴマ和え、シラス干しと大根おろし、こんにゃくの甘辛炒め、キュウリと金山寺味噌、きんぴらゴボウ、昼のポテサラ、青山さん再度のシメツ煮、と正士さんのおそばをス米さんのだしとがえし。

この夜も母屋で寝袋に。



原田さんの指導でチェーンソーの練習をする山本眞由美さん

6月16日(金)。カラリと晴れて気温が上がる。山本さんも参加して、桶ヶ沢園の草刈り。40分ほどで終り、丑さんち②の上の台地で草刈り。ススキがかなり手強くなっていたが、11:30までに終了。

(昼) オイルサーティンのパスタ、ジャガイモとニンジン粉チズ炒め。ス米さんの車に5人のりで掛川駅へ。ス米さんと康江さんは、6月23日からの北海道旅行の切符購入。ほくたはきここで別れて帰宅。

正士さんの体調が気がかり。早くよくなしてほしい。

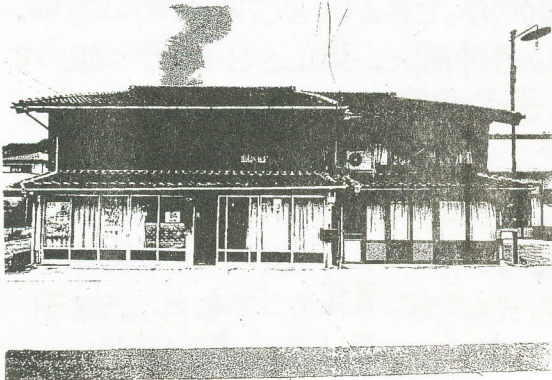


16日の昼食

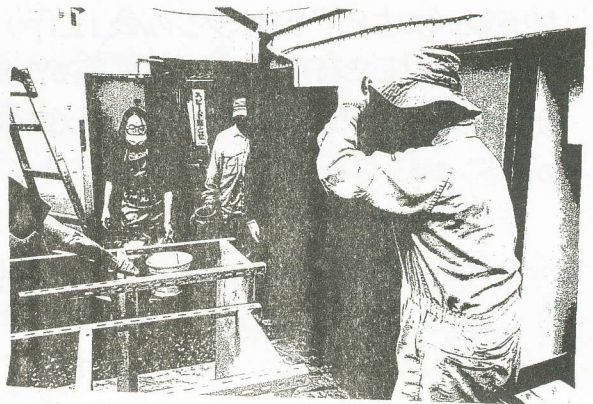


竹中さんのハンマーナイフ(自製刈機)

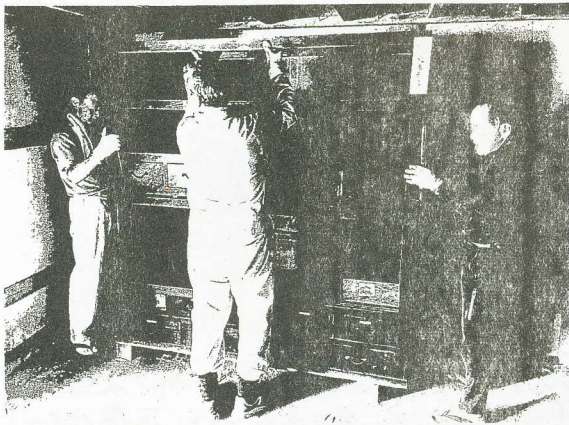
(記事は656号) 「笠井屋」写真集 (カハラ:正士さん)



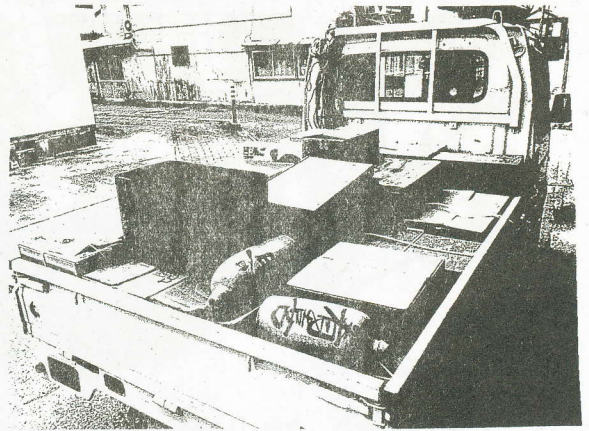
笠井屋全景



重い物は力持ちが

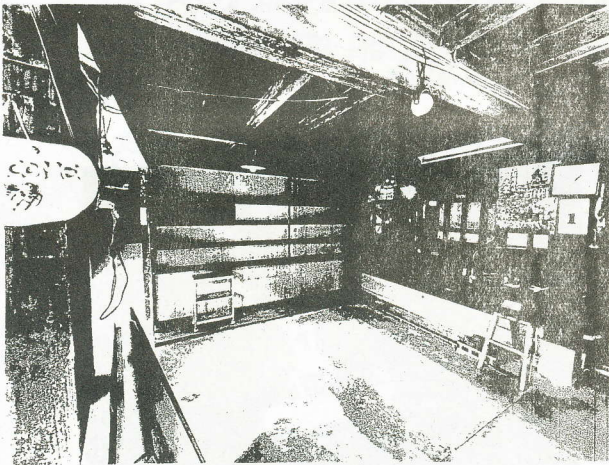


棚をとり外す

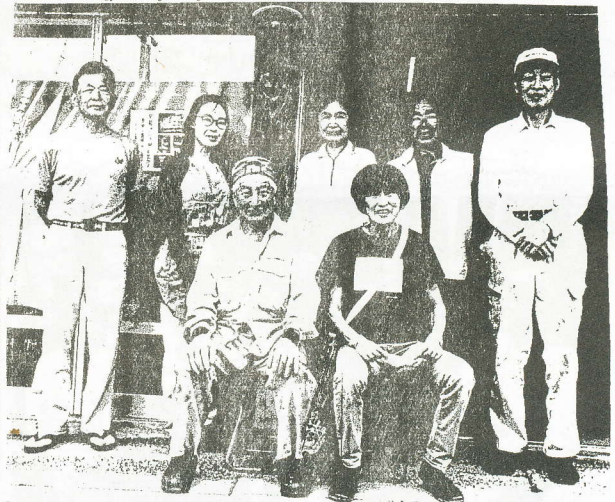


近くの倉庫へ

(カハラ:若林さん)



ガラんとした店内



原田え

千葉さん

ぼく

久米さん

佳子さん

山崎さん

正士さん